

秋田市

社会部
☎ 018-888-1830
FAX 018-823-1780

シリア難民の現状に理解を深めた報告会



公用語のア

明。自治区

が状況を説

ん(30)東

四村梨沙さ

援している

ア難民を支

治区でシリ

ラク北部の

クルド人自

として、イ

現地駐在員

た。

理解を深め

活の現状に

ない難民生

を受けられ

満足に教育

子どもたち

が

子

い

ス

ユ

開

い

ア

た。

市

ら

約

30

人

が

参

加

し

て

い

る

こ

の

山形のNPO

シリア難民に支援を

駐在員、教育の現状報告

内戦が続くシリアの難民問題に関心を持ってもらうべく、支援に取り組む山形市の認定NPO法人「IVY(アイビー)」は11日、秋田市の県青少年交流センター・ユースパルで活動報告会を開いた。市民ら約30人が参加。子どもたちが満足に教育を受けられない難民生活の現状に理解を深めた。

北極圏500



カナダ北極圏徒歩行の途中で秋田県旗を掲げる阿部さん(4月13日)(阿部さん提供)

17年、南極探

々の冒険を成し遂げてきた阿部さん。しかし氷点下15〜30度の世界には、これまでと全く異なる厳しさが待っていた。小高い氷の山が連続する「乱氷帯」や、膝まで埋まる深い積雪に苦戦した。猛烈な吹雪で視界が真っ白になる「ホワイトアウト」に見舞われ、「牛乳瓶の中を歩いていくようだった」と振り返る。最も警戒したのが野生のホツ

ラビア語の学校が少ないため、IVYが今年4月にアラビア語で勉強を教える補習校を開校し、支援対象地区の191人に学習の場を提供したことを紹介した。

一方、IVYの資金が足りず、対象地区全ての子どもを送迎できるバスの台数を用意できないことから、就学できない子どもが約100人いるという。

西村さんは「難民となって

「あけぼの秋田」

乳がん経験者ら 検診を呼び掛け

秋田駅前

県内の乳がん経験者らでつくる「あけぼの秋田」(佐藤



通行人に乳がん検診を呼び掛ける参加者(右)

IVYは支援事業への寄付を呼び掛けている。郵便振替口座02290-2185967、IVY宛て。通信欄に「シリア」と明記する。問い合わせは事務局☎023・634・9830 (石塚健悟)

清子代表)は11日、乳がん検診の受診を呼び掛けるキャンペーンをJR秋田駅前のぼほろーど大屋根下で行った。チラシを配って定期的な自己検診を勧めたほか、マンモグラフィによる無料検診も実施した。

「母の日」に合わせ、全国組織の「あけぼの会」(東京)が毎年展開している全国一斉キャンペーンの一環。

会員や医療関係者、秋田大の学生ら約40人が、そろいのピンクのジャンパーを着て、自己検診の方法をまとめたチラシとティッシュのセットを配布。秋田市千秋久保田町の県総

献血日程

合保健センターモグラライの女性19人のため、怖くないとあけぼの館市のいとぐけセンター、横手市のスよねやハッ場で、無料